

## 平成24年第2回竹原市議会定例会会議録

平成24年6月21日開議

(平成24年6月21日)

| 議席順 | 氏 名       | 出 欠 |
|-----|-----------|-----|
| 1   | 山 元 経 穂   | 出 席 |
| 2   | 高 重 洋 介   | 出 席 |
| 3   | 井 上 美 津 子 | 出 席 |
| 4   | 山 村 道 信   | 出 席 |
| 5   | 大 川 弘 雄   | 出 席 |
| 6   | 道 法 知 江   | 出 席 |
| 7   | 宮 原 忠 行   | 出 席 |
| 8   | 片 山 和 昭   | 出 席 |
| 9   | 北 元 豊     | 出 席 |
| 10  | 稲 田 雅 士   | 出 席 |
| 11  | 松 本 進     | 出 席 |
| 12  | 吉 田 基     | 出 席 |
| 13  | 脇 本 茂 紀   | 出 席 |
| 14  | 小 坂 智 徳   | 欠 席 |

職務のため議場に参加した者は、下記のとおりである

議会事務局長 宮 地 憲 二

議会事務局係長 住 田 昭 徳

説明のため議場に出席した者は、下記のとおりである

| 職 名                   | 氏 名     | 出 欠 |
|-----------------------|---------|-----|
| 市 長                   | 小 坂 政 司 | 出 席 |
| 副 市 長                 | 三 好 晶 伸 | 出 席 |
| 教 育 長                 | 竹 下 昌 憲 | 出 席 |
| 総 務 部 長               | 今 榮 敏 彦 | 出 席 |
| 総 務 課 長               | 桶 本 哲 也 | 出 席 |
| 情 報 化 推 進 室 長         | 平 田 康 宏 | 出 席 |
| 企 画 政 策 課 長           | 福 田 吉 晴 | 出 席 |
| 財 政 課 長               | 塚 原 一 俊 | 出 席 |
| 税 務 課 長               | 沖 本 太   | 出 席 |
| 会 計 管 理 者             | 前 本 憲 男 | 出 席 |
| 監 査 委 員 事 務 局 長       | 木 村 忠 志 | 出 席 |
| 選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局 長 | 桶 本 哲 也 | 出 席 |
| 市 民 生 活 部 長           | 谷 岡 亨   | 出 席 |
| 市 民 健 康 課 長           | 森 野 隆 典 | 出 席 |
| ま ち づ く り 推 進 課 長     | 大 澤 次 朗 | 出 席 |
| 文 化 生 涯 学 習 室 長       | 西 口 広 崇 | 出 席 |
| 忠 海 支 所 長             | 森 野 隆 典 | 出 席 |
| 人 権 推 進 室 長           | 谷 岡 亨   | 出 席 |
| 福 祉 課 長               | 大 宮 庄 三 | 出 席 |
| 子 ども 福 祉 室 長          | 井 上 光 由 | 出 席 |
| 建 設 産 業 部 長           | 柏 本 浩 明 | 出 席 |
| 産 業 振 興 課 長           | 中 川 隆 二 | 出 席 |
| 観 光 交 流 室 長           | 堀 信 正 純 | 出 席 |
| 建 設 課 長               | 大 田 哲 也 | 出 席 |
| 都 市 整 備 課 長           | 有 本 圭 司 | 出 席 |
| 区 画 整 理 室 長           | 有 本 圭 司 | 出 席 |
| 上 下 水 道 課 長           | 沖 谷 秀 一 | 出 席 |
| 農 業 委 員 会 事 務 局 長     | 西 原 正 教 | 出 席 |
| 教 育 委 員 会 教 育 振 興 課 長 | 久 重 雅 昭 | 出 席 |
| 教 育 委 員 会 学 校 教 育 課 長 | 亀 井 伸 幸 | 出 席 |

付議事件は下記のとおりである

- 日程第 7 報告第 4号 竹原市税条例の一部改正について
- 日程第 8 報告第 5号 竹原市国民健康保険税条例の一部改正について
- 日程第 9 議案第 3 2号 竹原市税条例の一部を改正する条例案
- 日程第 1 0 議案第 3 3号 竹原市印鑑条例及び竹原市手数料条例の一部を改正する条例案
- 日程第 1 1 議案第 3 4号 竹原市ひとり親家庭等医療費支給条例の一部を改正する条例案
- 日程第 1 2 議案第 3 5号 平成 2 4 年度竹原市一般会計補正予算（第 1 号）
- 日程第 1 3 議案第 3 6号 平成 2 4 年度竹原市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）
- 日程第 1 4 請受第 24-1号 中小業者の仕事起しと、地域経済循環型の政策の一つとして住宅・店舗など住宅リフォーム助成制度創設を求める請願
- 日程第 1 5 発議第 24-4号 地方財政の充実・強化を求める意見書（案）
- 日程第 1 6 発議第 24-5号 「防災・減災ニューディール」による社会基盤再構築を求める意見書（案）
- 日程第 1 7 発議第 24-6号 B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書（案）

午前10時00分 開議

議長（脇本茂紀君） おはようございます。

ただいまの出席議員は13名であります。定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

この際、本日新たに就任されました教育長より発言の申し出がありましたので、これを許可します。

教育長。

教育長（竹下昌憲君） 議案審議中、貴重な時間をいただきまして、まことにありがとうございます。

このたび、議会の同意をいただき、また、教育委員会の選任をいただきまして、教育長に就任いたしました竹下でございます、よろしくお願いたします。

今、その責務の重大さに身の引き締まる思いを強くいたしております。これまでの学校教育に携わってきた経験を生かし、本市教育の発展に全力を傾注していく所存でございます。そして、本市の教育ビジョンであります「夢をもち、子どもが輝く教育の実現」を目指してまいります。また、生涯学習の充実、スポーツの振興、文化財保護などに関しましても、市長部局との連携の中で真摯に取り組み、教育行政を推進してまいりたいと思っております。

どうか皆様の御指導、御鞭撻と、より一層の御支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

議長（脇本茂紀君） これより日程に戻ります。

---

#### 日程第7

議長（脇本茂紀君） 日程第7、報告第4号竹原市税条例の一部改正についてを議題といたします。

事務局職員から報告文を朗読させます。

〔事務局職員朗読〕

議長（脇本茂紀君） 市長から報告理由の説明を求めます。

市長（小坂政司君） 報告第4号竹原市税条例の一部改正について、御説明を申し上げます。

本案は、地方税法及び国有資産等所在市町村交付金法の一部を改正する法律が平成24

年3月31日に公布され、同年4月1日から施行されることに伴い、竹原市税条例の一部を改正し、同日から施行する必要があるため、地方自治法第179条の規定により、同年3月31日に専決処分いたしましたので、同条第3項の規定により御報告をし、御承認をお願いするものであります。

その主な内容といたしましては、まず、市民税につきましては、居住用財産を譲渡した場合の長期譲渡所得の課税の特例等について、東日本大震災により居住用家屋が滅失した場合における居住用家屋の敷地に係る譲渡期限を、現行の3年から7年に延長する措置を講じるものであります。

次に、固定資産税につきましては、下水道除外施設や、また雨水貯留浸透施設に係る固定資産税の課税標準の特例措置を定めるとともに、特例民法法人から移行した一定の一般社団法人、または一般財団法人が設置する図書館、博物館及び幼稚園に対する非課税措置について、必要な手続を定めるものであります。

何とぞ御承認のほどよろしくお願い申し上げます。

議長（脇本茂紀君） これより質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） これをもって討論を終結いたします。

これより採決いたします。

お諮りいたします。

本案は報告のとおり承認することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） 御異議なしと認めます。よって、本案は報告のとおり承認することに決しました。

---

## 日程第8

議長（脇本茂紀君） 日程第8、報告第5号竹原市国民健康保険税条例の一部改正についてを議題といたします。

事務局職員から報告文を朗読させます。

[事務局職員朗読]

議長（脇本茂紀君） 市長から報告理由の説明を求めます。

市長（小坂政司君） 報告第5号竹原市国民健康保険税条例の一部改正について、御説明を申し上げます。

本案は、地方税法の一部が改正され、平成24年4月1日から施行されることなどに伴い、竹原市国民健康保険税条例の一部を改正し、同日から施行する必要があるため、地方自治法第179条の規定により、同年3月31日に専決処分いたしましたので、同条第3項の規定により御報告し、御承認をお願いするものであります。

改正の内容につきましては、市民税における長期譲渡所得の課税の特例等について、東日本大震災により居住用家屋が滅失した場合における居住用家屋の敷地に係る譲渡期限を、現行の3年から7年に延長する措置が講じられたことに伴い、国民健康保険税の所得割額の算定においても、この措置の対象となる所得について、市民税と同様の特例措置を講じることとするものであります。

何とぞ御承認のほどよろしくお願い申し上げます。

議長（脇本茂紀君） これより質疑に入ります。

[「なし」と呼ぶ者あり]

議長（脇本茂紀君） これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

[「なし」と呼ぶ者あり]

議長（脇本茂紀君） これをもって討論を終結いたします。

これより採決いたします。

お諮りいたします。

本案は報告のとおり承認することに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

議長（脇本茂紀君） 御異議なしと認めます。よって、本案は報告のとおり承認することに決しました。

---

日程第9

議長（脇本茂紀君） 日程第9、議案第32号竹原市税条例の一部を改正する条例案を議題といたします。

事務局職員から議案を朗読させます。

〔事務局職員朗読〕

議長（脇本茂紀君） 市長から提案理由の説明を求めます。

市長（小坂政司君） 議案第32号竹原市税条例の一部を改正する条例案について、提案の理由を御説明申し上げます。

本案は、地方税法の一部が改正されたことに伴い、必要な規定の整備を行うものであります。

改正の内容につきましては、年金所得者に係る源泉徴収税額の計算における控除対象として、寡婦控除が追加されたことに伴い、市民税について公的年金等に係る所得以外の所得を有しなかった者が寡婦控除を受けようとする場合の申告書の提出を不要とすることとするものであります。

何とぞ慎重に御審議いただいた上、適切な御決定をお願い申し上げます。

議長（脇本茂紀君） これより質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） これをもって討論を終結いたします。

これより採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

---

#### 日程第10

議長（脇本茂紀君） 日程第10、議案第33号竹原市印鑑条例及び竹原市手数料条例の一部を改正する条例案を議題といたします。

事務局職員から議案を朗読させます。

〔事務局職員朗読〕

議長（脇本茂紀君） 市長から提案理由の説明を求めます。

市長（小坂政司君） 議案第33号竹原市印鑑条例及び竹原市手数料条例の一部を改正する条例案について、提案の理由を御説明申し上げます。

本案は、住民基本台帳法の一部が改正され、外国人住民が同法の適用対象に加えられたことなどに伴い、必要な規定の整備を行うものであります。

改正の主な内容につきましては、竹原市印鑑条例において印鑑登録原票に登録する事項及び印鑑登録証明書に記載する事項に、外国人住民に係る通称及び氏名の片仮名表記を加えるなど、外国人住民の印鑑の登録に係る事務について、必要な規定の整備を行うとともに、竹原市手数料条例において、外国人登録法に基づく外国人登録に関する証明事務に係る手数料を廃止するものであります。

何とぞ慎重に御審議いただいた上、適切な御決定をお願い申し上げます。

議長（脇本茂紀君） これより質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） これをもって討論を終結いたします。

これより採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

---

#### 日程第11

議長（脇本茂紀君） 日程第11、議案第34号竹原市ひとり親家庭等医療費支給条例の一部を改正する条例案を議題といたします。

事務局職員から議案を朗読させます。

〔事務局職員朗読〕

議長（脇本茂紀君） 市長から提案理由の説明を求めます。

市長（小坂政司君） 議案第34号竹原市ひとり親家庭等医療費支給条例の一部を改正する条例案について、提案の理由を御説明申し上げます。

本案は、ひとり親家庭等医療費の受給資格者となる要件について、平成22年度税制改正による扶養控除の見直しの影響が生じないように、必要な規定の整備を行うものであります。

ひとり親家庭等医療費の受給資格者につきましては、所得税が課税されていないことを要件としていますが、所得税につきましては、平成22年度の税制改正により、16歳未満の扶養親族に対する扶養控除が廃止されるとともに、16歳以上19歳未満の特定扶養親族に対する扶養控除の上乗せ部分が廃止されているところであります。

これらの税制改正の影響により受給資格者の要件を欠くこととなる場合が生じることから、受給資格者の判定に当たっては、これらの税制改正の影響がないものとして、所得税の算定をすることとするものであります。

何とぞ慎重に御審議いただいた上、適切な御決定をお願い申し上げます。

議長（脇本茂紀君） これより質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） これをもって討論を終結いたします。

これより採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

---

## 日程第12

議長（脇本茂紀君） 日程第12、議案第35号平成24年度竹原市一般会計補正予算（第1号）を議題といたします。

事務局職員から議案を朗読させます。

[事務局職員朗読]

議長（脇本茂紀君） 市長から提案理由の説明を求めます。

市長（小坂政司君） 議案第35号平成24年度竹原市一般会計補正予算（第1号）について、その概要を御説明申し上げます。

まず、歳出であります。総務費においては、住民協働支援事業に要する経費として、自治サポート助成金750万円を追加計上しております。

労働費においては、緊急雇用対策基金事業に要する経費として、ハザードマップ作成業務委託料285万7,000円、都市計画基本図等修正業務委託料2,300万5,000円、合わせて2,586万2,000円を追加計上しております。

商工費においては、消費対策に要する経費として、地方消費者行政活性化事業に係る講師派遣委託料など110万円を追加計上しております。

教育費においては、学力向上総合対策事業に要する経費として、報償費など40万円、施設維持管理に要する経費として、小・中学校の環境学習に係る備品購入費137万6,000円、文化財管理に要する経費として、吉井家住宅の維持管理に係る機械警備等委託料など250万円、合わせて427万6,000円を追加計上しております。

これに対し、歳入であります。歳出に係る特定財源として県支出金2,873万8,000円、諸収入750万円を追加計上するとともに、一般財源として財政調整基金繰入金250万円を追加計上し、収支の均衡をとっております。

以上により、歳入歳出それぞれ3,873万8,000円を追加し、予算総額は歳入歳出それぞれ118億58万3,000円となるものであります。

何とぞ慎重に御審議いただいた上、適切な御決定をお願い申し上げます。

議長（脇本茂紀君） これより質疑に入ります。

[「なし」と呼ぶ者あり]

議長（脇本茂紀君） これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

[「なし」と呼ぶ者あり]

議長（脇本茂紀君） これをもって討論を終結いたします。

これより採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

---

日程第 1 3

議長（脇本茂紀君） 日程第 1 3、議案第 3 6 号平成 2 4 年度竹原市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）を議題といたします。

事務局職員から議案を朗読させます。

〔事務局職員朗読〕

議長（脇本茂紀君） 市長から提案理由の説明を求めます。

市長（小坂政司君） 議案第 3 6 号平成 2 4 年度竹原市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）について、その概要を御説明申し上げます。

まず歳出であります。総務費においては、一般事務に要する経費として、システム改修委託料 1 0 5 万円を追加計上しております。

これに対し、歳入であります。国庫支出金について、同額を追加計上し、収支の均衡をとっております。

以上により、歳入歳出それぞれ 1 0 5 万円を追加し、予算総額は歳入歳出それぞれ 3 7 億 3, 7 0 9 万 4, 0 0 0 円となるものであります。

何とぞ慎重に御審議いただいた上、適切な御決定をお願い申し上げます。

議長（脇本茂紀君） これより質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） これをもって討論を終結いたします。

これより採決いたします。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されまし

た。

---

日程第14

議長（脇本茂紀君） 日程第14、請受第24-1号中小業者の仕事起しと、地域経済循環型の政策の一つとして住宅・店舗など住宅リフォーム助成制度創設を求める請願を議題といたします。

事務局職員から議案を朗読させます。

〔事務局職員朗読〕

議長（脇本茂紀君） 紹介議員松本進君より請願趣旨の説明を求めます。

11番（松本 進君） それでは、中小業者の仕事起しと、地域経済循環型の政策の一つとして住宅・店舗など住宅リフォーム助成制度創設を求める請願についての提案理由の説明を申し上げます。

先ほど事務局が朗読いたしましたように、野田内閣の景気底入れ宣言とは裏腹に、個人消費の冷え込みが続いております。こういった中で、広島県では、この住宅リフォーム助成を実施する自治体が、新年度から10の自治体にも広がっております。

県の資料によりますと、1月12日付現在の資料ですが、280件に交付した補助金額2,557万円に対して、契約額が7億2,967万円と経済効果が28.5倍あったという報告であります。

竹原市においても、地域経済を支える地元業者の仕事起こしと、市民の住宅リフォーム要求にこたえる政策をぜひ実施していただきたいという願いであります。

請願項目は、竹原市は、住宅リフォーム助成制度を創設することです。

以上、慎重に御審議の上、御同意いただきますように、御賛同いただきますように、よろしくお願ひ申し上げます。

議長（脇本茂紀君） お諮りいたします。

ただいま議題となっております請願につきましては、会議規則第89条第1項の規定により、民生産業委員会へ付託し、閉会中の継続審査といたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） 御異議なしと認めます。よって、請受第24-1号中小業者の仕事起しと、地域経済循環型の政策の一つとして住宅・店舗など住宅リフォーム助成制度創設

を求める請願については、民生産業委員会へ付託し、閉会中の継続審査とすることに決しました。

---

#### 日程第15

議長（脇本茂紀君） 日程第15、発議第24-4号地方財政の充実・強化を求める意見書（案）を議題といたします。

事務局職員から議案を朗読させます。

〔事務局職員朗読〕

議長（脇本茂紀君） 本案は、議長を除く出席議員全員の発議であります。よって、議案の説明、質疑、討論を省略し、採決いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） 御異議なしと認めます。よって、議案の説明、質疑、討論を省略することに決しました。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

---

#### 日程第16

議長（脇本茂紀君） 日程第16、発議第24-5号「防災・減災ニューディール」による社会基盤再構築を求める意見書（案）を議題といたします。

事務局職員から議案を朗読させます。

〔事務局職員朗読〕

議長（脇本茂紀君） 本案は、議長を除く出席議員全員の発議であります。よって、議案の説明、質疑、討論を省略し、採決いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） 御異議なしと認めます。よって、議案の説明、質疑、討論を省略することに決しました。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

---

日程第 1 7

議長（脇本茂紀君） 日程第 1 7、発議第 2 4－6 号 B 型肝炎・C 型肝炎患者の救済に関する意見書（案）を議題といたします。

事務局職員から議案を朗読させます。

〔事務局職員朗読〕

議長（脇本茂紀君） 本案は、議長を除く出席議員全員の発議であります。よって、議案の説明、質疑、討論を省略し、採決いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） 御異議なしと認めます。よって、議案の説明、質疑、討論を省略することに決しました。

お諮りいたします。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（脇本茂紀君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

以上をもって今期定例会に付議された案件はすべて議了いたしました。よって、平成 24 年第 2 回竹原市議会定例会を閉会いたします。

午前 10 時 43 分 閉会

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

平成 年 月 日

竹原市議会議長

竹原市議会副議長

竹原市議会議員

竹原市議会議員